

鎌倉街道上道を歩く 第5回

〈小田急線町田～相鉄線瀬谷〉

距離約 11km

1. 日時 2015年5月21日(木)
雨天の場合は 6月4日(木)……当初予定を変更
2. 集合場所 新秋津駅
3. 出発時間 8時43分(5分前には集合)
4. 昼食 12:00頃 フレンチレストラン
5. 帰着予定時間: 所沢駅 18:00頃



コースガイド

いよいよ武蔵国から相模国に入っていきます。鎌倉街道は七国山を過ぎて二つの道に分かれます。今回は新田義貞が進軍したと言われる西側の道を通ります。今回行く横浜市瀬谷には少し古い趣きのある道が残っています。

- ① **町田天満宮**：本町田の菅原神社、南大谷の天神社と共に**町田三天神**の一つ。

町田天満宮が建立されたのは1580年前後（天正年間）の頃と考えられています。1582年（天正10年）に原町田村が本町田村から分村されました。分村により神社がなくなってしまうため、北条氏照が原町田の有力者と相談し、本町田村の菅原神社と同じ菅原道真公を祀る神社を原町田村にも建てたのではないかと考えられています。現在の神殿は昭和42年（1967年）に造営されたもの。



現在、毎月1日にはがらくた骨董市が開かれています。

- ② **金森杉山神社**：杉山神社は、主に五十猛神（イソタケル）や日本武尊を主祭神とする神社で、横浜市を中心に川崎市、町田市、稲城市などに数十社存在します。杉山神社は武蔵国六之宮であるが、横浜市緑区西八朔町にある杉山神社それです。

金森杉山神社の入口には、**庚申塔、道祖神、地神塔、日待塔、光専神**等の石塔とその説明があります。

ここで一休みしましょう。

- ③ **金森天満宮**：現在では学問の神として有名な天神様ですが、明治12年の社寺明細帳には雷神と書かれています。雷を起こしたり、日照りを起こしたりする荒ぶる神は農民に



にとっては信仰して鎮める神です。戸外で働く人々が雷で命を落

とさぬよう、また雨乞いのために祀られていたそうです。そういえば、雷につきものの稲妻は稲の夫（つま）で、古代、稲の結実時期に雷が多いことから、雷光が稲を実らせるという信仰があったそうです。

- ④ **西田杉山神社のイチヨウ**：幹周 5.7m、樹齢 300 年以上で、「町田市名木百選」第 1 号として選出されています。このイチヨウは、南北朝時代、対岸の大和市公所（くぞ）にあった高木伊勢守の城中より無事長久を祈り、朝夕拝礼されたといわれています。3 回巡って祈願すれば願い事を叶えてくれるとの伝説もあります。



- ⑤ **定方寺(じょうほうじ)公園**：これから行く定方寺の元あったところです。ここで一息いれましょう。
- ⑥ **境川**：武蔵国と相模国の境に流れるので境川といえます。現在でも町田市を抜けるまでは、東京と神奈川の境です。高木橋を越えると大和市に入ります。この辺りにもカワセミがいるようで、橋を渡るとカワセミの写真が飾ってあります。
- ⑦ **定方寺(じょうほうじ)**：曹洞宗境国山定方寺といい、本尊は釈迦如来像です。慶長 15（1610）年に創建された当時は、定方寺公園となっていたところがあったが、たび重なる水害のため、元禄 3（1690）年ごろに現在地へ移転したと伝えられます。境内には瘡守稲荷（かさもりいなり）の小祠があり、疱瘡や吹き出物に靈験があるとして近郷の信仰を集めています。

- ⑧ **デリス**（フレンチ）大和市下鶴間 2020-10 ☎050-5798-6134
小さいお店ですので、別途ご案内するセレクトランチあるいは

本日のパスタの事前注文をお願いします。
コーヒー、紅茶：200 円、ケーキ:300 円
グラスワイン、ビール中ビン：630 円

ランチのパン
はお代わりが
できます

⑨ 大和市下鶴間ふるさと館

下鶴間ふるさと館には、東海道の脇街道である「矢倉沢往還」の下鶴間宿に残された宿場町時代の唯一の商家建築旧小倉家住宅の母屋と土蔵が復元されています。母屋は安政3年(1856)に建築されたものです。また、ふるさと館脇の交差点の角に高札が建てられています。

矢倉沢往還は、江戸時代に整備された街道で、江戸赤坂門から沼津宿を結び、大山への参詣道の一つであることから「大山街道」などとも呼ばれていた。現在は、ほぼこの旧往還に沿って国道246号が通っている。



- ⑩ **観音寺**: 鶴間山観音寺は高野山真言宗の寺で天文年間(1532～55年)に創建されたと伝えられます。宝暦年間(1751～63年)に当寺の阿闍梨の夢枕に瀬谷村中屋敷の高橋家に伝わる



十一面観世音菩薩が立ち、観音寺に奉安せよと伝えた。そのお告げにより観音堂を建てた。その後この付近で大火があったが観音堂だけ焼けなかったので十一面観音を主尊と仰ぎ、寺号を今の観音寺と改めた。

再び境川を渡って横浜市瀬谷(せや)区に入ります。

- ⑪ **地神塔**: 裏面に「風雨順時 五穀成就」と彫られている。

- ⑫ **妙光寺**：蓮昌山妙光寺は大同 8 年（808 年）天台宗福昌山明光寺として創建されたが、弘安 5 年（1282 年）日蓮上人が池上に行く途中に宿泊した時、蓮昌山妙光寺と改め日蓮宗に改宗したといわれます。



梵鐘（県の重要文化財）：梵鐘の銘文から宝徳 4 年（1452）相州瀬谷郷に住んでいた山田伊賀入道経光が質流れになっていた恩田町万年寺の梵鐘を手に入れ寄進したとされます。また、山田伊賀守が万年寺の和尚との法論に勝ち、賭けの代償として引きずって運び、妙光寺に寄進したためすり減って元の音色に戻らなくなったという民話があります。

瀬谷の八福神：七福神に達磨大師を加えた瀬谷八福神というものがあります。ここは、大黒天を祀ります。

- ⑬ **瀬谷の旧道**：北向き地藏堂の所を右に入ると趣きのある瀬谷の道があります。



・**善昌寺**：ここは八福神のうち恵比寿神を祀ります。また、横浜市の名木・古木に指定されたタブノキ、イチョウがあります。

・**瀬谷銀行跡**：明治 40 年県中央糸業金融（蚕の銀行）として開業。

昭和 10 年鎌倉銀行に合併されるまで、地域の発展に寄与しました。開業時の建物などがそのまま現存しています。当時は養蚕業が盛んで製糸場が多くありました。



・横浜市名木古木のケヤキ

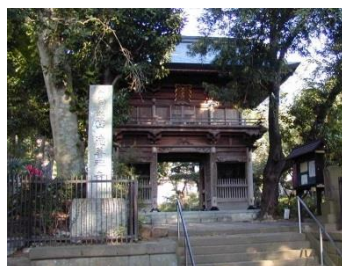
立派な門構えの家の前に幹周り 3.9m 樹齢 230 年のケヤキがあります。この辺りのケヤキ並木も見事です。

・**日枝社**：創建は不詳ですが、鎌倉時代には存在していたといわれます。地神塔、庚申塔等があります。

・**日枝社のケヤキ**：「かながわの名木 100 選」「横浜市天然記念物」幹周 5.4m、樹齢 350 年以上の巨樹です。御神木として殆ど枝打ちされず自然の樹形で、樹高 35m で見事に周囲を圧しています。



- ⑭ **徳善寺**：室町時代末期の弘治元年（1555）の創建。古色豊かな堂々たる山門は古刹の趣きたっぷりに迎えてくれます。瀬谷八福神の一つ毘沙門天も祀られています。



境内には明治新政府の地租改正

による増税に反対し訴訟で戦った川口儀右衛門、平本平右衛門両氏の功を称える義民建功の碑（横浜市文化財）があります。

横浜市名木古木指定の**カヤ**や**タラヨウ**の木があります。

タラヨウ（多羅葉）はハガキの木とも呼ばれ、葉の裏に傷を付けると黒く変色する不思議な植物です。木の葉に切手を貼ればハガキとして出せるそうですよ。



帰路 相鉄線瀬谷－大和－小田急線登戸－南武線府中本町
－新秋津－秋津－所沢

~~~~~  
次回は、瀬谷から相鉄線のゆめが丘駅までです。